

1 単元名 Hi, Friends! 2 Lesson8 「What do you want to be?」

2 単元について

本単元では、“What do you want to be?” や“I want to be ~”の表現を基に「将来の夢」を題材として取り上げている。本単元の目標は、「理由を述べながら自分が将来就きたい職業を相手に紹介すること」である。ここでは単に、将来就きたい職業をただ伝えるだけではなく、理由を含めて表現することで、今まで外国語活動で学んだことを総括的に捉えながらこの単元の学習に生かすこともできると考える。

総合的な学習の時間における職業調べの学習、社会科見学での職業体験活動や卒業を見据えて将来の夢を考えることで、他教科やキャリア教育との関連を図りながら、授業構成を考えていくことができる。

職業を表す英語が日本語の「～師」や「～家」のように、“～er”や“～ist”で表されるという言葉の面白さや言語間の表現の違いに気付かせるとともに、これまでの既習語彙や既習表現を用いながら、将来の夢を積極的に伝え合おうとする姿を目指したい。さらに、クラスメート同士で夢を尋ねたり答えたりしながら交流することだけではなく、世界の子どもたちの夢を聞く活動を通して、様々な夢をもつ同年代の子が世界にもいることにも気付かせたい。

単元の最後にスピーチを入れることで、単元を通して対話的なコミュニケーションだけではなく、プレゼンテーションスキルをも養いながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていきたい。

また、本校では教育課程特例校として児童の発達段階に応じて「書く」活動を取り入れている。第6学年ではHi, Friends 2に準拠したペンマンシップ教材を使用し、アルファベット学習から英単語の学習へと発展させていく。「聞く」、「話す」活動とともに、「書く」活動を継続的に取り入れ、アルファベットの文字や音の認識を徐々に蓄積させていきながら、中学校の学習へと繋げていく。

3 児童の実態について

児童は外国語活動の授業によく取り組んでいるが、さらに実態をつかむため、アンケートを実施した。

【外国語の授業についてのアンケート】

(6年2組23名 平成28年12月5日実施)

①外国語活動は好きですか。

はい	5人
まあまあ好き	13人
あまり好きじゃない	5人
きらい	0人

②外国語活動の授業はわかりますか。

よくわかる	2人
わかる	14人
あまりよくわからない	6人
わからない	1人

③英語を使えるようになりたいですか。

④学校の中で、ALT の先生に進んで話しかけていますか。

そう思う	16人
どちらかといえばそう思う	6人
どちらかといえばそう思わない	0人
そう思わない	1人

話しかける	16人
ときどき話しかける	6人
あまり話しかけてない	0人
ほとんど話しかけていない	1人

⑤英会話の学習で楽しいことはなんですか。(自由記述)

ゲーム・歌	14人	インタビュー	1人	英語が理解できたとき	2人
単語を習う	2人	友達と話す	3人	英語を覚える	1人

⑥外国語活動の学習でこまったことはありますか。(自由記述)

理解できない	14人	単語の意味がわからない	1人	覚えられない	1人
読めない	1人	発音がわからない	1人	とくにない	6人

アンケートの結果から、①外国語活動が好きな児童が多く、学習意欲も高いことがわかった。②授業内容については、おおよそ7割の児童が理解していると答えているが、実際の学習ではやや理解に時間がかかるようになってきた。③ほとんどの児童が「英語を使えたらよい」と考えており、④多くの児童が ALT に話しかけている姿を見かけることから、英語に関する意識が高いことが伺える。⑤「授業で楽しいと思うこと」は、「ゲームや歌」がほとんどであったが、「友達との会話」や「単語を習うこと」など、コミュニケーションや言語習得としての観点からも英語学習の楽しさを感じている児童がいることがわかった。⑥一方で、外国語活動の学習でこまったことについては、多くの児童が ALT の話す英語を理解できないときと答えている。

本単元でも、ゲームや歌を授業の中で取り入れ、英語を学ぶ意欲を高めていきたい。また、難しい説明は適宜、日本語を使うなど、児童が外国語活動に意欲的に取り組めるようにしていく。単元を通して、自分が将来就きたい職業を相手に伝えるときに必要な言葉や話し方を理解させるように工夫し、自信をもって英語を伝え合うことで友達とのコミュニケーションに楽しく取り組ませるようにしたい。

4 単元のねらいと評価規準

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
単元 の ね ら い	自分の思いがはっきり伝わるように、将来就きたい職業について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。	将来就きたい職業について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。	世界の同年代の子どもたちも様々な夢をもっていることに気付き、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。
評 価 規 準	進んで自分の将来就きたい職業について話をしたり、友達の将来就きたい職業を尋ねたりしようとする。	“Where do you want to be?” “I want to go be~.” という表現に親しみ、将来就きたい職業とその理由を伝えている。	世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることや、職業を表す語について英語と日本語の共通点や相違点に気付いている。

5 単元の指導計画・評価規準（4時間扱い）

時	○目標 ・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
第1時	○様々な職業の言い方を知る ・チャンツ ・キーワードゲーム ・ビンゴゲーム ・ポインティングゲーム ・ペンマンシップ（書く活動）			○	・職業の英語での言い方に興味をもち、日本語との違いに気付く。	・行動観察 ・振り返りシート 【分析】
第2時	○様々な職業の言い方に慣れ親しむ。 ・チャンツ ・ラッキーカードゲーム ・リスニング ・ミッシングゲーム ・ペンマンシップ（書く活動）	○			・将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする英語の表現を進んでつかっている。	・行動観察 ・振り返りシート 【点検】
第3時	○将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。 ・チャンツ ・ステレオゲーム ・インタビューゲーム ・チェンゲーム ・ペンマンシップ（書く活動）			○	・将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・行動観察 ・振り返りシート 【点検】
第4時 本時	○将来就きたい職業を理由とともに紹介したり、友達の就きたい職業やその理由を聞き取ったりする。 ・チャンツ ・スピーチ ・ペンマンシップ（書く活動）	○	○		・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、将来就きたい職業について発表したり聞いたりしている。 ・“I want to be ～.”という表現に親しみ、将来就きたい職業とその理由を伝えている。	・行動観察 ・振り返りシート 【点検】

6 本時のねらい

- ・将来就きたい職業を理由とともに紹介し、友達のなりたい職業やその理由を聞き取ろうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・将来就きたい職業について英語を用いて伝える表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】

7 本時の展開（第4時／4時間）

指導過程	児童の活動	教師の働きかけ		◇指導上の留意点 ◎評価規準と評価方法	資料	時間
		HRT	ALT			
1 Greeting	・英語で挨拶をする	・全体で挨拶をする。 Hello. How are you? How's the weather today? What day is it today? What's the date today?	・挨拶の後に気分、天気、曜日、日にちを尋ねる。 ・元気よく挨拶をする。	◇テンポよく尋ねる。 ◇大きな声で言えた児童を称賛する。		2
2 Warm up	・“Twelve Months”と“Days of the week”の歌を歌う。	・笑顔で大きな声で歌う。 Let's sing songs.	・発音に気をつけさせながら歌う	◇ALT は英語の発音が日本語と違うことが子供たちに分かるように歌う。	CD	5
3 Chant	・スクリーンを見ながらの言い方の復習をする。	・大きな声で言い、雰囲気盛り上げる。 Let's do the chant.	・映像に合わせて、発音の模範となる。	◇テンポよく繰り返し言わせる。	TV	5
4 Speech	・グループに分かれて、将来就きたい職業についてのスピーチを行う。 ・グループ同士でスピーチ発表の交流を行う。	・デモンストレーションをする。 ・机間指導しながら個別の発表を聞く。 Make 6 groups of four. Tell your friends what you want to be in the future.	・デモンストレーションをする ・机間指導しながら個別の発表を聞く。	◇テンポよく行う。 ◎自分が将来就きたい職業とその理由を紹介したり、友達の紹介を積極的に聞いたりしている。 【コ】＜行動観察＞ ◎将来就きたい職業やその理由を説明する際に発音やイントネーションなどに気をつけ“ I want to be ~.”の表現を使っている。 【慣】＜行動観察＞	タブレット PC	20

	<p>例</p> <p>Hi. My name is Satoshi Iwata.</p> <p>I want to be a farmer. I like vegetables such as cabbages, corns and potatoes. I can ride an agricultural tractor and grow many vegetables in the field. I want to sell my fresh vegetables to many people.</p> <p>Thank you for listening to my speech.</p>			◇発表の際につまづいている児童には言い方を教える。		
5 Writing	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を見ながら、きちんと書けているか確認する。 <p>It's writing time.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を見ながら、丁寧に単語と発音を紹介していく。 	◇綴りと発音を結びつけながら指導する。	ワークブック	9
6 Review	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、シートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動していた児童を称賛する。 <p>Let's review today's lesson.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時への意欲が高まるような言葉かけをする。 	◇ねらいに対しての振り返りをさせるようにする。	振り返りシート	3
7 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るくあいさつをする。 <p>Goodbye class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気に挨拶をし、楽しい雰囲気です。 			1